

災害対応を支えるデジタルインフラ管理基盤の研究開発

事業概要（フェーズ 1）

内容

「道路点検AI Road Manager」、「市民協働投稿サービス My City Report」を、平時だけでなく緊急時の被災状況収集にも活用するための調査・研究開発

背景・経緯

被災状況の迅速な把握のためには、自治体職員が効率的な情報の収集から、得られたデータの分析まで一気通貫で行うことが求められる。また、自治体での限られた予算や緊急時の迅速な調達の困難さを考えると、緊急時の利用だけでなく、平時も活用することが望ましいため、平時と緊急時両方で利用可能な技術が求められる。

狙い、波及効果

被災状況の把握のための情報収集の迅速性、網羅性、効率性の観点で、災害被害の最小化と回復の迅速化を支援できると考える。具体的には以下の通りである。

- 平時：インフラ管理のために巡回工数の大幅削減というイノベーションが起き膨大なインフラを低コストで網羅的な管理を可能にする
- 被災時：一般車両ドラレコや住民通報データを活用した短時間で広範なエリアの被災状況を把握することでの自治体職員の手間最小化、情報収集時の安全性向上、評価の均質化

事業化

日常パトロールを軸とした舗装維持管理デジタル基盤を災害時に転用することで、潜在的な災害時コストを下げ、被害の最小化と回復の迅速性も支援可能な基盤・プロダクト開発を目指す。

株式会社アーバンエクステクノロジーズ

本社所在地	東京都中央区京橋二丁目5番1号 TCMビルディング2階
設立／資本金	設立）2020年4月7日 資本金）241,000,000円
従業員数	22名（2024年9月現在）
事業内容	都市インフラ管理のデジタルサービス

